



ドロプラクリーム ～天然素材を使用した無機質系内外装壁材～



マグネシウムを多く含む白雲石（ドロマイト）を焼成・消化したドロマイトプラスターを主原料にした壁材です。漆喰に似ており、合成樹脂等の化学物質を一切含まない天然の壁材です。内壁だけでなく、外壁にもご使用になれます。

特徴

❖ 使い方が簡単

ペンキ塗りのように素人でも手軽に塗れます。また、リフォームなどでも塗り替えが簡単です。

❖ 使い方が簡単

骨材（珪砂など）の配合や道具の使い方で、さまざまな仕上げが可能です。ローラー塗りコテ塗り、磨き仕上げ、アートペイント技法による色模様付けも可能です。

❖ 安全性

自然素材から作られており、合成樹脂や有害化学物質を使用していません。アトピー、ぜん息、アレルギーの方にも安心してご使用頂けます。廃棄しても環境を汚しません。

製品詳細

商品名	ドロプラクリーム ホワイト	施工面積(㎡/袋)	ローラー2回塗り厚み約0.2mmで約40㎡ ※下塗り材として使用する場合は珪砂(5号・30kg)を混ぜて使用 コテ塗り厚約1.0mmで約20㎡
価格	20,000円 販売単位1缶～	成分	ドロマイトプラスター、メチルセルロース、水、無機化合物
内容量	20kg/1缶	保管方法	気温が5℃以下、または凍結の恐れがある場所では保管しないで下さい。
商品名	ドロプラクリーム 黄べんがら・紅べんがら・うす桜	成分	黄べんがら：ドロマイトプラスター、メチルセルロース、水、無機化合物、黄べんがら 紅べんがら：ドロマイトプラスター、メチルセルロース、水、無機化合物、紅べんがら うす桜：ドロマイトプラスター、メチルセルロース、水、無機化合物、タンニン
価格	25,000円 販売単位1缶～		
内容量	20kg/1缶		
施工面積(㎡/袋)	ローラー2回塗り厚み約0.2mmで約40㎡	保管方法	気温が5℃以下、または凍結の恐れがある場所では保管しないで下さい。
商品名	ドロプラクリーム 白竹炭	施工面積(㎡/袋)	ローラー2回塗り厚み約0.2mmで約40㎡
価格	29,000円 販売単位1缶～	成分	ドロマイトプラスター、メチルセルロース、水、無機化合物、白竹炭
内容量	20kg/1缶	保管方法	気温が5℃以下、または凍結の恐れがある場所では保管しないで下さい。
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ●消臭効果 1100度の高温で焼成された「白竹炭」が、室内の空気を常に清浄化します。 ●VOCの吸着分解効果 ホルムアルデヒド、トルエン、キシレンなどのVOCの吸着分解に優れています。 		
商品名	ドロプラ下塗材	施工面積(㎡/袋)	コテ塗 厚み約1.5mmで約10㎡
価格	9,000円 販売単位1袋～	成分	ドロマイトプラスター、メチルセルロース、無機化合物、パーライト(骨材)
内容量	9.5kg/1袋	保管方法	気温が5℃以下、または凍結の恐れがある場所では保管しないで下さい。

※すべて消費税・送料別途となりますのでご了承ください。

施工方法

施工方法

- 養生
 - ドロプラクリーム各種はすべて強アルカリ性のため、木部に付着すると変色の恐れがあります。チリ取り、木部は養生を行って下さい。
- 目地処理・下地処理
 - プラスターボードに施工する場合の目地・下地処理の際にはスーパーガニックス目地用・下地用を使用すること。●目地処理：ボードの継ぎ目には割れを防ぐためジョイントテープを張り、スーパーガニックス目地用で処理して下さい。●下地の凹凸が大きいと仕上の表面に現れますので、ボードの継ぎ目は丁寧に目地処理を施してください。●詳しくは、本カタログのスーパーガニックス(下地処理材)の施工方法を参照下さい。
- ①-1 下塗り（ドロプラクリーム各種を使用した場合）
 - (1) 珪砂 30kg (5号) をご用意下さい。(2) 容器を開け中から専用ジェルを取り出し、ドロプラクリームをステンレス桶に空けます。その上に専用ジェルをビニールから空け、よく攪拌します。これに珪砂 30kg を加えさらに攪拌し、粘度を確認しながら水で希釈していきます。このときの希釈目安は 2リットルぐらいですが、そのときの条件によって水分量は変わるので、必ず練り具合を確認しながら水を加え練り上げて下さい。(3) (2) で作った材料をコテを使い塗って行きます。このとき厚塗りにならないようにご注意ください。
 - ※下塗り施工時にコテを使用して模様を付けるなどの方法もあります。
 - ※材料が残った場合、空気に触れないように覆って保管できますが、早めに使い切るようにしてください。
- ①-2 下塗り（ドロプラ下塗り材を使用した場合）
 - 少量の水を容器に入れます。次に、ドロプラ下塗り材を容器に入れ、4.5～5gを目安にミキサーなどを使用して攪拌して下さい。この時、水を入れすぎないように少しずつ水を加えて塗り付けやすい硬さに調節しながら練って下さい。水を入れすぎると塗工しづらくなります。1晩おけば翌日にローラー仕上げが可能です。梅雨時期などは2～3日かかる場合もあります。
 - ※袋には材料をミキシングして詰めてありますので、必ず1袋の中身を一度に全部混ぜ合わせて下さい。(1袋を何回かに小分けして使用しないでください)
 - ※水と攪拌した材料は、空気に触れないよう密閉して保管して下さい。約1週間間保管できます。保管した材料は必ず一度攪拌して使用して下さい。
- 仕上げ塗装
 - (1) 容器を開け、中から専用ジェルを取り出し下に入っているクリームをステンレス桶に空けます。その上に専用ジェルをビニールから空けよく攪拌します。その後、粘度を確認しながら水で希釈します。希釈目安は 2リットルぐらいですが、条件によって水分量は変わります。必ず練り具合を確認しながら水を加え練り上げて下さい。練りあがりローラーに付けて転がしたときにスムーズに回るぐらいです。(2) 下塗り材が十分乾いてから(2日ぐらいを目安)一回目の仕上げ塗装を行います。(1) で練り上げた材料を使用しローラー又は仕上げ用ローラーで塗っていきます。一回目の塗装が乾いてから二回目の塗装を行ってください。
 - ※塗装を行った際、下地が透けて見えますが乾けば見えなくなりますから、重ね塗りをして厚く塗らないようにしてください。
 - ※材料が残った場合表面をビニールに空気に触れないように覆って保管できますが、早めに使い切るようにしてください。

水
材
塗り壁
クロス
接着剤
断熱材
塗料
カーテン・コルク
障子・畳
金物
壁紙
ベレットストロープ
生活用品